

国際先導研究 審査結果の所見

課 題 番 号	23K20041
研 究 課 題 名	ポストコロナ時代を見据えた学際ウイルス学研究の推進
研 究 代 表 者	佐藤 佳
審査結果の所見	<p>【学術的意義、期待される成果】</p> <p>本研究課題は、ウイルス学研究を、従来のウイルス種ごとの研究体制から、マクロ、メゾ、ミクロという三つの研究単位で捉え直し、相互に連動させて研究の格段の推進を図る斬新な提案である。高い実績を有するウイルス学の若手研究者間の連携並びに世界の第一線の研究者との連携により、多様なウイルスへの対応と、将来のパンデミックに柔軟かつ迅速に備え得る基礎ウイルス学の学際研究体系の創成・確立が期待できる。多様な国内研究者の参画や、イギリスなどの研究者が連携に加わることで、国際的なネットワークの中核の構築が期待できる。</p> <p>若手研究者の人材育成計画については、具体的によく練られており、特にサマーキャンプなど若手研究者の主体的な取組が注目される。新型コロナウイルス感染症において日本からの発信が極めて遅れたとされる状況を、40歳代を中心とした研究代表者らから変えたいという強い意志が感じられ、ウイルス研究のみならず社会的要請度も高い提案である。</p>